

・ 全学群対象 ・

## 「障害学生支援技術」に関するお知らせ

本授業では、視覚、聴覚、運動・内部、発達障害等の学生に対する支援技術を学びます。それぞれのニーズに応じた支援を行うことができるよう、養成講座として五つのコースを実施しています。各コースで学べる支援スキルは以下の通りです。

視覚コース	授業資料等のテキストデータ化、物理操作補助(対面朗読など)
聴覚コース	要約筆記(手書き/パソコン)
運動・内部コース	ノートテイク・代筆、移動支援
発達コース	発達障害支援活動
LSコース	図書館資料のテキストデータ化

受講生は「障害学生支援に関する基礎理解」の授業をオンデマンドで受講した後、演習として各コースの「養成講座」を選択・受講します。オンデマンドの講座は全体オリエンテーション(75分)とニーズ別の支援内容に関する講義(約60分×4本)から構成されます。

養成講座で受講するコースは複数選択が可能です。詳細は後にmanabaでご連絡します。

なお、大学院生で本授業の受講を希望する場合はチラシ記載の問い合わせ先までご連絡ください。

講座を受けた後には学んだ技術を活かし、**ピア・チューター**として受講した講義の支援活動にも携わることが出来ます。

### 養成講座各コースの日程(自由選択・春学期と秋学期は同じ内容で実施)

視覚コース ▶ [春学期] 6/10(土)、6/11(日) [秋学期] 10/7(土)、10/8(日)

聴覚コース ▶ [春学期] 5/21(日)、5/28(日) [秋学期] 10/15(日)、10/22(日)

運動・内部コース ▶ [春学期] 6/3(土)、6/4(日) [秋学期] 11/11(土)、11/12(日)

発達コース ▶ [春学期] 6/24(土)、6/25(日) [秋学期] 11/25(土)、11/26(日)

LSコース ▶ [春学期] 5/20(土)、6/17(土) [秋学期] 10/21(土)、11/19(日)

## TWINS登録期間

# 5月5日(金)

通年開設の講義のため、

秋学期に受講希望の場合も

この期間内に必ず登録してください。

担当教員

竹田一則、左藤敦子、名川勝、佐々木銀河、  
小林秀之、末吉彩香  
ヒューマンエンパワーメント推進局

## 障害学生支援チームより

### 視覚障害学生支援グループ

視覚障害学生は授業の配布プリントや掲示物などをそのままの形で読むことは難しいため、私たち視覚障害学生支援グループでは、そういった学生に対しての支援を行っています。

具体的には、授業の配布物などの文字を、パソコンを使ってテキストデータにする作業(テキストデータ化)や文献検索・入手の補助、事務書類の代筆、対面朗読、移動支援などをそれぞれの学生のニーズに合わせて行っています。

### 聴覚障害学生支援グループ

私たちは主に聴覚障害学生への講義中などの情報支援を行っています。講義形態に合わせ、手書きで行う要約筆記、パソコン要約筆記、手話通訳という3種類の方法で音情報を視覚化し、聴覚障害学生に情報を伝えます。

対面授業での情報支援、オンライン授業での同時双方向での情報支援に加え、オンデマンド授業の動画の字幕修正も行っています。

また、聴覚スタッフとして養成講座の運営に携わることも可能です。私たちと一緒にタイピングスキルを磨いたり、難聴と健聴のコミュニケーションについて考えたりしてみませんか？

### LSグループ

LSグループは、紙の資料の利用が困難な学生を対象に附属図書館での資料電子化サービスを行っています。具体的には、機器で読み取って電子化されたテキストの校正、図表のテキスト化等が挙げられます。電子化した資料は国立国会図書館にも提供されています！このコースでは、基本的な校正の仕方や、図表・写真・絵などをテキストデータとして説明する方法について、解説・演習を行います。

LSグループの活動は図書館で個人で行うため、人見知りでも全く問題ありません！また好きな時間に活動できるのも魅力の一つです。学生を陰から支援したい方にはおすすめのグループとなっています！

### 運動・内部障害学生支援グループ

筑波大学には様々な種類の運動障害学生がいます。そこで私たちは授業間の移動に時間がかかってしまう人のために、車いすを押すなどの「移動支援」や、手などに障害があって講義を受けるときにノートをとることが難しい障害学生の代わりにノートをとる「ノートテイク支援」を主にしています。

他にもパソコンを使って資料作成のお手伝いをするなど、障害学生のニーズに応じて支援内容を組み立てていきます。

### 発達障害学学生支援グループ

発達障害学生支援グループでは、大学生の学習や生活に役立つ情報配信サービス「Learning Support Book (LSB)」の作成を行っています。例えば、忘れ物が多い人向けに、紛失防止グッズの使い方やテクニックについて紹介記事・動画を作成します。作成した記事は他学生や外部の発達障害当事者のチェックを受け、筑波大学生・教職員、他大学に配信されます。また、LSBの内容をより手軽に発信するため、LINEbotの開発にも取り組んでいます。

その他、発達障害の診断や傾向のある学生も参加する学生グループ活動を行っており、その運営補助も担当します。学習のスキルアップに関心のある方や、自分の時間に合わせて活動したい方、ぜひ一緒に活動しましょう！